

てんぐ新聞

12.1 No.175
発行 市岡田
責任 佐々木
0883-885292

年末始の恒例となつ
てきた「もんてきた」
かえりの大風。今年も
国道をいに掲示出来まし
た。

大風

おど 迎え

様々な出来事があった昨年。
気が重なり、何もしたくない
気分になりがちですが、十二
月になると、今年もするん
かえりと事をかけて下さる人
何人かありまして、なんとか
十二月二十七日にあげることに



今年ももんてきたつかえ

出来ました。
竜と牛という事で
「もんてきたつかえ」
という言葉を
えびす。
減る一オの人口の東祖谷へ、年末始に帰
省してくる皆さんも少なくないですが、
その中でも、あちこちに地果をバーの車が
駐っていました。
帰って来る、ふる里があるという事が、今年
程、よかつたと思える耳がなかったのではな
いだろうか。
だとするならば、ふる里がふる里として存
在する為に、それ以外の立場から、動いて
いかねばいけ、このままでは、帰って来る「ふ
る里」は、杉や松の林の中に、草が茂り、廃屋
と、補助金で作った箱物だけのテーマパーク
になってしまふぞしよう。
町に出よう」とチャンスを持つている考えで
は、あちこつに町でも何も出来ません。
今、住んでいる東祖谷は、誰のものでもなく
他人事でもなく、今住んでいる人達のもの
で、住んでいる人達の問題でもあるのです。



一三類遠望一

ええ またがえ

十二月二十五日は、この冬はじめての
大雪でした。天気予報が荒れるの
情報でしたが、山好きの人にとっ
ては関係ないのぞきよう。
単独で登山、次郎岩に登った青年
(香川県)が二十五日、下山出来なくなり
SOS。
時に冬山だった、天候が悪い時に登
る人は、その対策は十分とっているはあ
りますが、自然は何が起きるか知りま
せん。それでも登るのであれば、そ
の覚悟が求められます。冬山遭難救
助のエキスパートは祖谷にいませんよ。

多くの皆さん
から年賀状
をいただきました。
ありがとうございます。
その中に、氏名
がなくて住所
変更の注が
あり、新しい住
所も書いてあ
るのですが、お
多前がありま
せん。
私かひとあ
つて人はい
うで下す。
よろしく
お願いしま
す。

